



貢物の移動だ!

こんにちは!

こ、こんにちは!



みんな、気を引き締めてくれ!この貢物には少しの粗相も許されないぞ!



その魚の頭はどこから来たのかな? 味見させてくれ。

押さないで!

シーッ...

あんた達もあの大院に行くのかい?



あそこには、ご馳走がたくさんあるつよ!

誰から聞いたの?



化け物もいるって聞いたけど、ほんと?

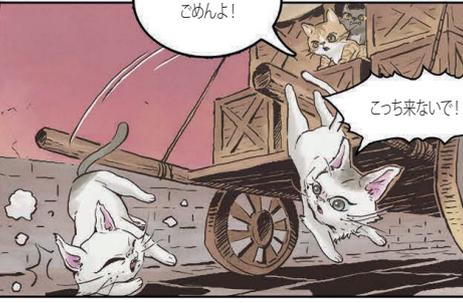
化け物は... 確かにいるわね。

ほんとに!!

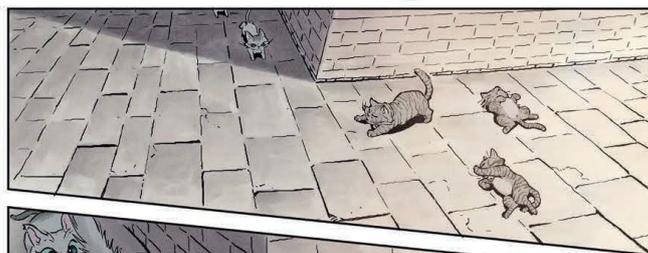
行かないで! ごめんよ!



うわ!臭っさ!



こっち来ないで!















クロ、化け物だよ!

おいおい、そんなに興奮すんなよ?
俺には何も見えないぞ!



あのふたりは、
あなたたちの
友達なの?

誰だ?

知り合いでは
ないんです。



でも、あなたを
助けたわよ。



でも、本当に知らない
んです!

え、この声、
聞き覚えが...

あいつら、
あそこにいる!



こっちにおいて、
猫ばあちゃんのところ
では、みんなに分け前
があるのよ。



やっぱり、あんたら宴会しに
来たんだな!



わあ、
小魚の干物だ！
それにエビの頭も！

ねえ、
大っきいひと、
こっちに来て！



ここは何？
あなたが…
このリーダー？

私はリーダーなんかじゃ
ないの、私のこと猫はあ
ちゃんって呼んでちょう
だい。

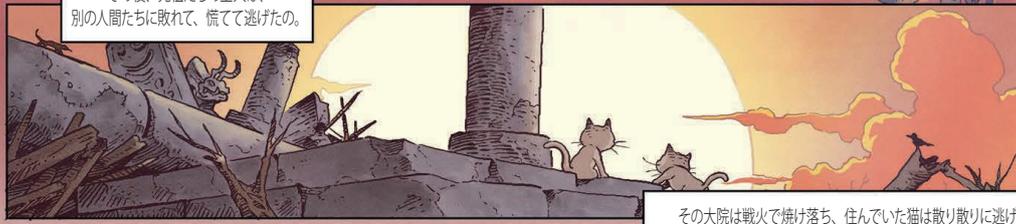


ここは宮殿で、「朱」という姓の人間の首領と、
その家族が住んでるの。

遠い昔、私の先祖もこんな大院に住んでいて…それは前の王朝が建てた宮殿で、
天下一の広さを誇り、最も贅沢で、最も尊敬される人間の住居だったわ。



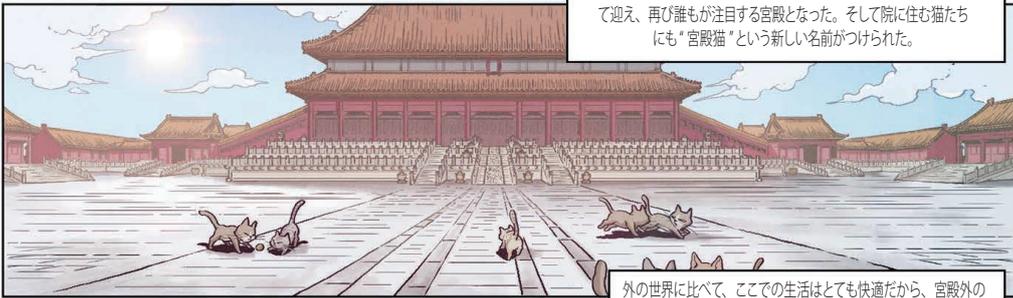
その後、先祖たちの主人は、
別の人間たちに敗れて、慌てて逃げたの。



その大院は戦火で焼け落ち、住んでいた猫は散り散りに逃げて、
生き延びる道を探したわ…でも、私の先祖たちはここに残ったの。



17年ほど前、大勢の人が突然やって来て、丸14年かけてこの新しい院を建設したの。
そしてこの院が半分できた頃、私が生まれたのよ。



2年前、この大院は、「朱」という姓の人間の首領を新しい主人として迎え、再び誰もが注目する宮殿となった。そして院に住む猫たちにも「宮殿猫」という新しい名前がつけられた。



そして去年の今頃、凶暴で横暴な猫が大庭園に現れ、そいつが「猫王」と名乗っているの。

外の世界に比べて、ここでの生活はとても快適だから、宮殿外の仲間たちも続々と宮殿猫の大家族に加わってきたのよ。



猫王？
何て威勢のいい名前だ！

やめてよ、その名前、
あんたのオナラより臭いわ！

俺、その猫王とやら
を見てみたいな！



うわ、クロ！
あいつの図体、おまえよりもはるかにでかいぞ！

かなり凶暴そうだな！



簡単よ、
ここから見てごらん。





